

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第4回） 議 事 要 旨

■日 時：令和7年7月1日（火） 14:00～16:10

■場 所：久留米ステーションホテル 会議室

■出席者：（委 員）古賀委員長、乾委員、嶋田委員、中島委員、西野委員、広渡委員、真鍋委員、
山根委員、塚原委員（代理出席 藤岡技術副所長）
（事務局）5名
（オブザーバー）朝倉市

■配布資料：

- ・議事次第
- ・資料－1 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会出席者名簿
- ・資料－2 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会規約
- ・資料－3 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会の公開方法について
- ・資料－4 筑後川水系ダム群連携環境保全委員会（第3回）議事要旨
- ・資料－5 環境レポート（本編）（案）
- ・資料－6 環境レポート（概要）（案）
- ・資料－7 環境レポート（冊子）（案）

■審議内容等：

1) 組織変更に伴う規約の変更について

資料－2について事務局から説明し、委員の承諾を得た。

2) 環境レポート（概要）（案）について

資料－6について事務局から説明し、委員の了承を得た。主な意見は下記の通り。

- ・環境レポートとして公表する資料は、「本編」（仮称）及び「概要」（仮称）とする。また、本編は「である」調とし、概要版の本文は「です・ます」調、図表は内容によっては「である」調とし、表現の統一を図る。
- ・概要を2部構成にした趣旨を追加すると良い。
- ・外来種の定義を示した上で、侵略的外来種による影響の3項目（「生態系への影響」、「人の生命・身体への影響」、「農林水産業への影響」）を記載する。
- ・水温変化は非常に重要な課題であり、水質予測結果、トンネルの地熱による水温変化のデータ、モニタリングによる監視の必要性について記載すると良い。

3) 環境レポート（冊子）（案）について

資料－７について事務局から説明し、委員の了承を得た。主な意見は下記の通り。

- ・小学生高学年を対象とした分かりやすい表現とし、適宜QRコードを併用すると良い。
- ・生物写真はできる限り、紹介する地域に実際に生息する生物個体の写真を使用することが望ましい。
- ・人間活動と環境や生物との関わり合いについて記載すると良い。
- ・冊子（仮称）の作成については、必要に応じて、本委員会の後続委員会にて継続して作業を進め、熟度の高い冊子の完成を目指してはどうか、との委員長提案があった。

4) その他

事業予定地である朝倉市がオブザーバーとして出席し、以下の発言があった。

- ・筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会にオブザーバーとして出席し、事業地自治体として意見を述べる機会を頂いたことに感謝する。環境への影響について、専門的見地から丁寧な審議が行われ、事業地の懸念も適切に反映されていると感じている。事業者には工事中だけでなく、事業完了後の継続的なモニタリングを強くお願いしたい。

以 上